

●円覚寺を訪ねて三つ

最初に、円覚寺の雲頂庵の住職（殿谷一成氏）のお話からひとつ。

鎌倉市は古都保存法の古都に指定され、訪ねた円覚寺は、歴史的風土特別保存地区という都市計画の中にあります。このため裏山の木竹の伐採を始め、何をするにしても県知事の許可が必要とのこと。そして、やたらと森を残せという環境保護団体もあり、裏山が荒れる傾向にあるとか。また、本堂などの改築や増築も思ったようにできないとのことでした。

『人口減少化に伴い、坊さんは必要でなくなる時代に突入しつつある。CSR（企業の社会的責任）の実施など必要とされるよう努力をしないといけないのに、古都法のため思い切った手が打てない。古都法は一体なんのためにあるのか？』ということで、特区を考えているとのことでした。

住職のお話でもうひとつ。TPPを例に出され、『禅の考えは常にオープン。何から何かを守るのに、何かを閉ざすのでは未来がない。時代の流れで真に必要なとされないものは冷淡に必要とされなくなる』とか。また、国と県と市の役割も例に出され、『必要とされるよう努力をすべきだが、妄に頑張ると必要とされないことが逆に目立ってしまう』とか。我々業界もそうならないよう、あとでこそっと参拝しました。

最後にひとつ。円覚寺のある住所は山ノ内という地名で、その隣は扇ガ谷という地名でした。かつて山ノ内と扇ガ谷の両上杉家は交替で関東管領職を務めました。山ノ内上杉家が開いたまちが北鎌倉です。参考までに、扇ガ谷上杉家の補佐をしていたのが、江戸城を築き江戸の都市計画を積極的に行い、東京開発の恩人と言われる太田道灌です。

高尾 利文（第二計画部）

●B級ご当地グルメの拡がり

前回ここで「県民ブーム」を取り上げた際、当世まちおこしも「よさこい、ジャスフェス、B級グルメ」ばかりでは…と揶揄気味に書いてしまい、もの云えば唇寒し…の心持ちしきり。世はまさに「B級ご当地グルメ」花盛り、すでにまちおこしの切り札との声も聞かれます。昨年、B-1グランプリに輝いた「甲府鳥もつ煮」の甲府市では、受賞直後から大幅な観光客の増加が報告され、地元シンクタンクは直接・間接合わせた経済効果を28億円とはじき、大きな話題になりました。

金なし・名物なし・温泉なしのないない尽くしても参戦できて、しかもハコいらず、大きな波及効果も期待できるとあって、新規参入はあとを絶ちませんが、そこはご多分に漏れず、我勝ちに乗ってはみたものの「商品開発」だけで終わってしまっているケースも少なくなく、現時点で300近くあるとされるご当地グルメのうち、ブランド化を達成できた地域はその1割ほどに過ぎない、という見方もあります。そのなかで、ブランド化に成功したご当地グルメを見てみると、広く地域に周知され食文化として定着している（させる）こと、また品質を保つための認定・保証のしくみがあること、さらに参入者を増やし品質の向上をめざす研修制度などがあること、などじっくり時間をかけた準備と機を見て仕掛ける機動力が欠かせないように思います。

このためか以前は、行政主導で民間を巻きこんでいく宇都宮餃子（家計調査年報の同市の餃子消費量が多いことに着目した市職員の提案がきっかけ）のようなケースが主でしたが、昨今ではやはり先述のB-1グランプリに出展し、上位に食い込むことが成功の鍵となってきました。

ところで、このB-1グランプリを主催している「愛B（アイビー）リーグ※」ですが、B級ご当地グルメでまちおこしをしているボランティア団体の集まりで、会員は、無償でまちおこしに取り組む団体であることを条件としています。加盟後も活動実績を積んでいなければ出展資格を得ることもままならないとか。そこで、行政がこれら団体の活動を支援する動きも始まっており、岡山県は県内の団体の組織化（おかやまB級グルメまちづくりネットワーク）をはじめ、ご当地グルメと観光を結びつけたメニューづくり（ご当地グルメでぐるぐる・まったり事業）など、ターゲットをB-1グランプリに絞った支援に力を入れており、今年はずいに1-2フィニッシュという快挙を達成しました。

メディアで注目を浴び、一気に全国区でブレイクする…というスピード感に目を奪われがちですが、B-1グランプリというツールだけでなく、十分な準備と熱意があってはじめて得られるブランドだということ。それはもうA級と呼ぶに

ふさわしい。

※正式名称: (社) B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会

山田 順造 (デザイン室)

発行責任者 : 代表取締役 庄山 高司
事務局 : 株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2011 ALMEC Corporation. All rights reserved.